



“鴨川探検！再発見！”見聞録



～第40弾「秋の鴨川ウォーク 水辺の自然観察会」の巻～

“鴨川”の魅力を再発見し、川への理解を深め、治水や防災、河川愛護や自然環境保全への関心を広げるために企画しました“鴨川探検！再発見！”のシリーズ第40弾「秋の鴨川ウォーク 水辺の自然観察会」を開催しました。

小学生と保護者34名が、北山大橋周辺の高水敷を散策しながら水辺の生物や植物、野鳥等を観察しました。ヤマブキで白い茎を出したり、河川敷で見つけた動植物を記載するビンゴゲーム等を体験しました。そのあと、河川敷の原っぱで網を片手にバッタなどを捕まえました。近畿地方で木枯らし1号が観測された日でしたが、風にも負けず、紅葉した木々と秋のやさしい日差しのもと、参加者の皆さんには、秋の鴨川を十分に楽しんでいただけたようです。

●自然観察会(北山大橋周辺)



北山大橋を出発！自然観察開始です



自然観察指導員から茎出しを教わって



ヤマブキの茎出せました



親子で一緒にがんばって虫とりです



こんな大きいバッタも



動植物発見ビンゴゲーム

●まとめ

みんなで見つけた生きものや植物のことを教えてもらったり、先生達にたくさんの質問をしました。



■ 日 時 平成27年10月25日 日曜日 午前9時から11時30分まで(天候 はれ)

■ 場 所 鴨川北山大橋周辺

■ 参加者 子ども19名、保護者15名の計34名

[講師:NPO自然観察指導員京都連絡会]

